

## 生物科学学会連合 第 29 回定例会議 議事録

日 時：2024 年 4 月 25 日（木）15:00～17:00

場 所：オンラインによる開催

出欠状況：

出席（加盟団体）： \*印は兼任または重複出席者を示す。

### 運営委員

東原 和成\*（生科連 2023-2024 代表）

後藤由季子（生科連副代表） 宮下 直（生科連副代表）

小林 武彦\* 片山 豪\* 原田 慶恵

### 団体代表

土畑 重人（個体群生態学会）

小野 教夫（染色体学会）

菱田 卓（日本遺伝学会）

大和田祐二（日本解剖学会）

岩崎 秀雄（日本時間生物学会）

高野 博嘉（日本植物形態学会）

古賀 皓之（日本進化学会）

宮田麻理子（日本神経科学学会）

仁科 博史（日本生化学会）

片山 豪\*（日本生物教育学会）

菱川 善隆（日本組織細胞化学会）

寺北 明久（日本動物学会）

鎌田真由美（日本バイオインフォマティクス学会）

永田 崇（日本比較生理生化学会）

中川 真一（日本分子生物学会）

井手 竜也（日本分類学会連合）

諫田 泰成（日本薬理学会）

田辺 秀之（染色体学会）

東原 和成\*（日本味と匂学会）

日出間 純（日本宇宙生物科学会）

小根山千歳（日本細胞生物学会）

三好 一郎（日本実験動物学会）

経塚 淳子（日本植物生理学会）

尾藤 晴彦（日本神経化学会）

坂上 和弘（日本人類学会）

北島 薫\*（日本生態学会）

高橋 倫子（日本生理学会）

中川 敦史（日本蛋白質科学会）

喜田 聡\*（日本農芸化学会）

丹羽 隆介\*（日本発生物学会）

神田 真司（日本比較内分泌学会）

藤田 敏彦（日本分類学会連合）

鏝田 武志（日本免疫学会）

(計 31 団体)

欠席（加盟団体）： 日本植物学会 日本生物物理学会 日本微生物生態学会

(3 団体)

(加盟合計 34 団体)

出席：遠藤 一佳（自然史学会連合）

喜田 聡\*（令和 5・6 年度会計監査委員）

丹羽 隆介\*（令和 5・6 年度会計監査委員）

北島 薫\*（日本学術会議統合生物学委員会委員長）

五十嵐和彦（日本学術会議基礎医学委員会委員長）

小林 武彦\*（日本学術会議基礎生物学委員会委員長）

門脇 孝（日本医学会）

辻 省次（日本医学会）

道上 達男（JBO 運営委員長）

岸本 健雄（国立沖縄自然史博物館設立準備委員会）

(敬称略、加盟団体名 50 音順)

事務局 東海 春香

## 議題・報告：

1. 代表挨拶  
東原代表より、第 29 回定例会議開催にあたり挨拶が述べられた。
2. 前回議事録確認について  
第 28 回定例会議議事録（案）が確認され、原案通り承認された。
3. 令和 5 年度事業報告について  
東原代表より、資料に基づき令和 5 年度事業報告について、定例会議および運営委員会の開催、各種委員会などの活動の報告がなされた。
4. 令和 5 年度会計報告について  
事務局より資料に基づき令和 5 年度決算報告について、ほぼ例年通りの決算内容となったと説明がなされた。
5. 関連国際会議について  
宮下副代表より、資料に基づき今後開催される関連国際会議について説明がなされた。その他、周知したい情報がある場合、事務局宛に連絡して欲しいと依頼がなされた。
6. IBO・JBO（国際生物学オリンピック）について  
道上達男国際生物学オリンピック日本委員会運営委員長より、日本生物学オリンピックについて、3 月に最終選抜試験を行い、4 名の日本代表、2 名の次点者を選出したと報告がなされた。また、国際生物学オリンピックについて、7 月 7～14 日にカザフスタン・アスタナで開催予定と告知がなされた。
7. 研究費・人材育成委員会について  
後藤副代表（委員長）より、科研費増額要望のための署名について、署名開始までのスケジュールと意見交換会について説明がなされた。要望書について、科研費増額希望額や人文社会学を含めて要望書を提案した方が良い等意見交換がなされた。
8. 生物教育・大学入試問題検討委員会について  
片山委員長より、大学入学者選抜試験問題作成上の留意点について、第 29 回定例会議後、各大学へ送付すると報告がなされた。また、高等学校の生物教育における教育用語集の作成について、生科連が提案した教育用語集を日本学術会議で検討しており、日本学術会議からの修正後、解説集作成に着手すると説明がなされた。最後に令和 6 年 12 月 21 日に生物教育・大学入試問題検討委員会でシンポジウムを開催すると告知がなされた。
9. 地球生物プロジェクト委員会について  
宮下副代表（委員長）より、高校生 生きものの“つぶやき”フォトコンテストについて今年度も開催すると報告がなされた。また、より多くの学校から応募をいただくため広報の方法について意見募集がなされた。
10. 第 28 回定例会議後の活動状況について  
宮下副代表から資料に基づき第 28 回定例会議以降シンポジウムの開催、メール審議 3 件、後援 2 件、加盟団体への周知 4 件の活動を行ったと報告がなされた。

11. 日本学術会議について

小林基礎生物学委員会委員長より、資料に基づき日本学術会議の政府提案の法人化の問題点について説明がなされた。また、生物教育・大学入試問題検討委員会で作成している高等学校の生物教育における教育用語集について、過去に「高等学校の生物教育における重要用語の選定について（改訂）」を日本学術から発出した関係で、今回も日本学術会議から教育用語集を発出するため、検討している旨、経緯の説明がなされた。

12. 国立沖縄自然史博物館の設立活動について

岸本健雄国立沖縄自然史博物館設立準備委員会代表理事より、資料に基づき国立沖縄自然史博物館の設立に向けた取り組みの進捗状況について報告がなされ、引き続き加盟団体への協力依頼がなされた。

13. その他

東原代表より、次期代表の選出についての告知がなされた。

以上